JAPAN FEDERAL MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION

JMC NEWS 全医協連ニュース

発　行＝
全国医師協同組合連合会

平成21年1月1日発行 No.111 初茜号

特集

第36回通常総会〈名古屋〉

［通常総会・懇親会／名古屋観光／ゴルフ参戦記］

◆ブロック便り
九医協連「通常総会」、中医協連「職員研修会」、
「滋賀県医師協同組合ビル」建設について、「四国ブロック協議会」報告

JAPAN FEDERAL MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION

JMC NEWS 全医協連ニュース

初茜号

平成21年1月1日発行 No.111

発　行＝全国医師協同組合連合会
発行人＝小林照尚
企画・編集＝全医協連広報部会
URL http://www.zen-ikyo.or.jp
Eメール zen104@zen-ikyo.or.jp

CONTENTS

◆特集 4

第36回通常総会〈名古屋〉

［通常総会・懇親会／名古屋観光／ゴルフ参戦記］

2 ―― 年頭所感
小林 照尚（全医協連会長）
唐澤 祥人（日本医師会会長）

10 日医よもやま話 ―― 「全国医師協同組合連合会の益々の発展を願って」
（社）日本医師会副会長 岩砂和雄

12 寄稿 ―― 「オリンピックと私」……霜 礼次郎

16 NUMBERS㉔ ―― 南蛮図……菅原克郎

18 旅のブラックエッセイ ―― 「北伊・瑞西名峰の旅に参加して
マッターホルンが赤富士に！」……松井昭男

20 全国温泉巡り ―― 「湯原温泉（岡山県）、ホテル西長門リゾート（山口県）」

22 旬の食べ物紹介 ―― 「下関、奈良、千葉、番外編」

40 水彩の旅 ―― 「スケッチブックを道連れに」〈第1回〉……大森俊次

42 ブロック便り ―― 九医協連「通常総会」、中医協連「職員研修会」、
「滋賀県医師協同組合ビル」建設について、
「四国ブロック協議会」報告

48 書籍紹介 ―― 「モンスター・ペイシェント」……南　俊秀
「日本の人口は減らない」……南　俊秀

50 医師協の雑誌から ―― 「名古屋市医協ニュース、広島県医協だより」

51 ―― 理事会だより……岩田章男

54 ―― JMCギャラリー（諏訪求仁雄）

56 ―― 歌壇・俳壇

24 ―― ［購買部］
・購買部取扱い商品のご案内
・第1回チラシコンペ開催結果

30 ―― ［福祉部］
・平成20年「生命保険販売促進キャンペーン」入賞者の声
・平成20年「生命保険販売促進キャンペーン」表彰式
・全国医師協同組合連合会LICメンバー
・大和生命保険の経営破綻について
・全医協連取扱い保険商品一覧

36 ―― ［調査企画部］
・平成20年度事務局代表者会議レポート！

52 ―― 理事会・部会だより／マンガ

57 ―― 編集後記

表紙写真：知床の浜辺
目次写真：冬の日本海

鶴岡の冬の午後の海岸。空には雲が一ひら二ひら浮かんでいる。その空のもと日本海の荒波が牙を向き風よけに作られた垣根より発する虎落笛のみ聞える。荒寥とした風景が拡がるのみであった。

写真提供（表紙、目次）：水野幸一（千葉市医師協）

新年を迎えて

全医協連
会長 小林 照尚
（こばやし てるひさ）

平成21年の初春を迎えるに当たりまして、皆様に心よりお喜びを申し上げます。

全医協連加盟の皆様には、お元気で良き新年を迎えられた事と拝察いたしております。

昨年1年を振り返って見ますと、政治の混迷が続き、経済は落ち込み、食の安全は脅かされ、医療環境も悪化しており、先行きの不透明さと不安が取りざたされています。皆様もすでにご承知のように、アメリカのサブプライムローン問題が全世界の金融機関および経済に大きな影響を与え、金融危機、株の暴落を惹き起こしました。日本の株式市場もこの影響を大きく受け、とりわけ生命保険会社では含み損が増加し、健全経営を保持する事が困難な状況となり、10月10日、大和生命が経営破綻し、東京地裁に再生手続き開始の申し立てを行う事態になりました。

全医協連は「こうのとり」と呼ばれる「全医協連年金制度」を設立しており、その運用および管理を大和生命に委託しております。現在1、000名を超える先生・従業員の方々に、「こうのとり」および大和生命の保険に加入いただいており、皆様に多大なご迷惑をおかけしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

また、大和生命の破綻の約一ヶ月前、AIGの経営難が報じられました。全医協連はAIGグループのアリコジャパン、AIGエジソン生命、損保のAIUと商品販売の提携をおこなっていますが、このリストラ計画によるとAIUは存続、アリコジャパン、AIGエジソン生命は売却先を募る事になっております。

AIGの経営トラブルにつきましても、ご契約の皆様にご心配をおかけしており、深くお詫びを申し上げます。

この1年間の全医協連を振り返ってみますと、大きな取組が2つありました。

一つは、休診共済会の共済事業が、保険業法の改正により存続が困難となり、一昨年11月末に廃業しました。休診共済会は共済事業に代わって、会員の皆様への医療・医業関係の情報提供と、コンサルト事業をホームページを使って実施していく事になっております。また休診共済会の剰余金の使用方法、および公益法人改革にあわせて組織そのものの変更も検討しております。

もう一つは、中小企業等協同組合法の改正に伴う、定款の改正ですが、全医協連も各医協、地区連合会も無事に終了しております。

新年早々暗い話ばかり続いてしまいましたが、全医協連としましては、少しでも所属員のみなさまにより良いサービスを提供出来るよう努力してゆく所存であります。

収益事業である購買事業、福祉事業の発展に取組み、購買では前期から書籍斡旋事業を開始しておりますが、かなりの成果を上げることが出来、そのノウハウをもとに第2、第3の事業の開発を目指しております。

福祉事業については、大和生命破綻、AIGグループの再編等、前期以上の困難がありますが、今一度原点に返って検討したいと思っています。

また、会員拡大を積極的に図り、組合活動をさらに強固にしていきます。日本医師会および県医師会が検討している公益法人化について、医協として協力できることがあれば、積極的に取組み、医協の存在感を大きくしていきたいと考えています。

全医協連のホームページを充実し、HPのない医協の支援を行い、各医協の活動に援助、協力が出来ればと思っています。

本年も全医協連は各加盟医協とともに、メリットある医協、魅力ある医協を目指しますので、組合員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

年頭所感

社団法人 日本医師会
会長 唐澤 祥人
（からさわ よしひと）

明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日ごろから日本医師会の会務運営に対しまして、厚いご支援と深いご理解を賜り、心より御礼申し上げます。

一昨年夏に表面化した米国のサブプライムローン問題は、昨年9月には金融危機として世界を覆い、わが国でも株価が暴落し、輸出関連企業ばかりか多業種にわたり大不況に陥っています。その影響は、わが国の労働人口の3分の1を占めるという派遣社員、請負社員など、非正規雇用労働者を直撃し、契約解除という名の大量解雇が始まっています。こうした雇用の不安は、社会不安を一層増大させました。昨年発生したいくつかの衝撃的な事件の背景と、社会不安の増大には、少なからぬ関連があると思わざるをえません。

一方、長期にわたる医療費抑制策は、医師不足をはじめ、医療分野を完膚なきまでに疲弊させています。とりわけ専門医療の中核的担い手である病院医師の負担は限界点を越えております。昨年立て続けに起こったハイリスク妊婦の救急受け入れ不能問題は、今日の医療が抱える問題の象徴的な現れと認識しています。早急に具体策を講じ、医療崩壊の拡大を防ぎ、国民の期待に応える地域医療提供体制を強化して、国民の日常生活における安心を確保することが最重要です。将来への安心・安全が見通せない状態では、地域社会の文化的、経済的活力をも低迷させ、単なる医療問題でなく、ひいてはわが国全体の深刻な社会問題へと発展し、大きな希望を夢見た21世紀は、まさに暗黒の時代に突入してしまうことが危惧されます。

こうした、将来を展望しにくい状況をいかに切り開いていくかについては、われわれ医療関係者の積極的な行動が求められています。その立脚点こそ、わが国が世界に誇る、「いつでも、どこでも、だれもが」普遍平等に医療を享受できるという理念の国民皆保険制度です。これは全ての国民にとって掛け替えのない財産であります。国民にとって、健康に不安を抱えたままでは快適な生活がおくれないばかりか、明日の見通しも立ちません。「国民の生命と健康を守る」という原点に立ち返り活動するとき、国民皆保険制度は一層輝きを増すことでしょう。

「健康寿命世界一」など、世界的にも高い評価を受けている日本の医療ですが、その実態は、医療関係者の献身的な努力によって成立しているのが実状です。今こそ、地域医療、なかでも小児医療、産科医療、救急医療の早急な再建が必要です。地域医師会が中心となり関係者の力を結集し、地域住民の安心・安全のために寄与することが重要であります。

日本医師会では、日本の将来的医療を展望した「グランドデザイン」を作成し、中長期視点に立ちながらも、喫緊の課題に取り組んでまいります。皆様におかれましては、日本医師会が推進する医療政策に対し、深いご理解と格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

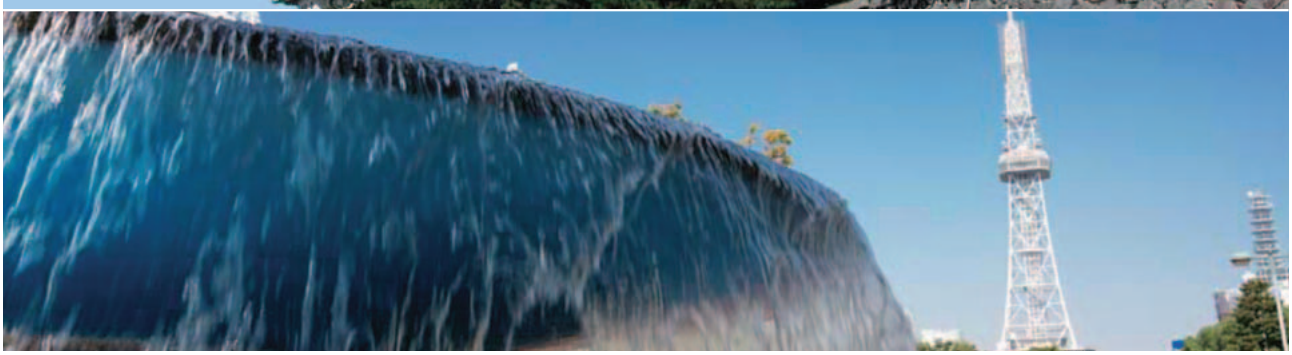
ここに、本年が皆様にとりまして、一層安寧で躍進の年でありますよう衷心より祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。

NAGOYA

特集

第36回通常総会

全国医師協同組合連合会「第36回通常総会」が、
開催地担当・名古屋市医師協同組合のご協力により、
平成20年11月1日（日）、名古屋東急ホテルで開かれました。
ここでは、総会・懇親会の模様と
翌日行われた名古屋観光、ゴルフコンペの様子をご紹介します。



全国中央会　瀬戸事務局長

日本医師会　岩砂副会長

全医協連　小林会長

通常総会は、本会理事で総務担当の長野幸雄氏の司会で議事進行しました。開会宣言は副会長の眞瀬静氏が担当し、次いで開会の挨拶で、小林照尚会長から「今回の総会を1年前から準備していただき名古屋市医師会協同組合の早川常彦理事長ほかスタッフの皆様に深く御礼申し上げます。平成19年度の事業で、米国のサブプライムローン問題でリーマンブラザース証券が経営破綻を始め、AIGへの公的資金の導入、その他の国々でも大手金融機関に公的資金の導入が進められています。わが国においては、10月10日に大和生命が経営破綻し、更正手続きの申し立てがなされ、更正計画が出されています。当生命については、全医協連は昭和58年9月から全医協連年金制度「こうのとり」として年金の運用および管理を大和生命に委託しており、破綻後においても、「こうのとり」に加入されている先生・従業員の皆様方に多大のご迷惑をかけていることに対して深くお詫び申し上げます。そして更正計画の進捗状況を皆様方に情報を入手しだい文書や全医協連ホームページ上でお知らせしていきます。AIGについても、全医協連はAIGグループのアリコジャパン、AIGエジソン生命、損保AIUと商品販売の提携を行っていますが、こちらAIGの経営トラブルについても契約会員に多大なご迷惑をおかけしたことに対して深く陳謝します。

今年の全医協連の取り組みとして、休診共済会の事業が、保険業法の改正により存続が困難となり、昨年11月に廃業しました。共済契約の民間保険への移行に関して、各医協の協力に感謝と御礼を申し上げた。休診共済会の剰余金の使用方法、および公益法人改革に併せて組織そのものの変更も検討していますので、皆様方のご理解協力をお願い申し上げます。もうひとつの取り組みは、中小企業協同組合法の改正にともない、定款の変更、組合経営ガバナンスの強化、経理の透明性が強く要求され、全医協連も各医協、地区連合会もこれに対処し、無事に定款変更が終了。今後のガバナンスと透明性を確保することがこれからの責務として皆様がと取り組んでいきたいと存じます。

その他、具体的な重要課題として、①収益事業である購買事業、福祉事業の発展に取り組む。また、②会員拡大を積極的に図り、組合活動を更に強固にしていきます。③IT関連の環境整備に取り組むこと、④大規模災害時の対応を検討していきたい」と述べました。

ついで、式次第は組合表彰に移り、全国からの優秀な医協が表彰されました。次いで来賓挨拶を頂戴した後に、開会地の名古屋市医師会協同組合早川理事長が慣例によって議長として議案を審議しました。

乾杯
名古屋市医師協
野々村監事

組合表彰：福祉部

組合表彰：購買部

後藤郁子さん

組合表彰：広報部

第1号議案
平成19年度 事業報告並びに決算書類当の承認を求める件
第2号議案
平成20年度 事業計画案並びに収支予算案の承認をもとめる件
第3号議案
平成20年度 賦課金決定の件
第4号議案
平成20年度 借入金最高限度額の決定の件
第5号議案
平成20年度 役員報酬決定の件

これら議案は協議の結果すべて承認されました。

なお、次期総会開催地は東京に決定しております。

最後に鮏川副会長から閉会の挨拶で総会が無事に終了しました。

定款変更に伴い、外部監査に関しては、日本医師会副会長岩砂和雄先生、宝住与一先生にご就任頂いた事の報告がありました。

なお、今日までの長年に渡り、永井龍行前会長が今回お辞めになられ、これまでの功績に対して功労金を贈呈することを決定しております。永井龍行先生は体調が思わしくなく本総会には出席かなわず、小林会長から、長い間医協の発展に貢献されて来たことに深い感謝を述べていました。

●懇親会について

総会が約20分遅れたので、懇親会は約30分後から開催されました。

歓迎の挨拶は名古屋市医師会協同組合理事長の早川常彦先生が名古屋の歴史を紹介しながら全国から参加された会員の皆様方に歓迎の挨拶がなされ、その後、小林会長の挨拶ほか御来賓の方々からの挨拶を経て、名古屋市医師会協同組合監事の野々村外太郎先生の音頭で乾杯の後、宴が始まりました。アトラクションも素敵な歌手が宴会を盛り上げていただき、そして名古屋市医師会協同組合の皆様方の暖かいおもてなしに心から感謝申し上げます。

（広報部副部会長　真栄田篤彦）

名古屋観光

私の次男坊が岐阜の地で生活するようになって、早いもので8年になろうとしている。時には岐阜に行くこともあるが、名古屋はミュー特急に乗って素通りである。この電車は速く、愛媛の予讃線の特急とは大違いである。最初は特急券の買い方がわからず、乗車券のみで乗り、中で特急券を買っていたが最近は上手く買える様になった。名古屋は初めて行くところで、大いに楽しみにしていた。

11月1日(土)の総会は予定通り終り、懇親会も盛大であった。2日(日)、午前6時過ぎには起床した。ゴルフ大会参加組を見送りにおりる。少し曇り空である。バスの中で、サンドイッチをパクついている。発車するバスを見送った後、ホテルの周りを歩いた。珍しいモンゴル料理の店もあった。昨夜はご馳走であったが、地方から出て来るものにとっては食べる機会のないものだ。ああ、残念と思いながらホテルに戻る。暫く休憩し、朝食をいただく。8時40分、東急鯱バスに乗り込んだ。1号車〝十兵衛〟2号車〝千姫〟である。名古屋市役所が右手に見えた。立派な建物であるが、ちょっと変わっている。9時ちょうど、名古屋城に着いた。「アー、大きい」。我が、松山にも松山城があるが、何だ、このでかさは。松山城は松山市の中心部の山の上にあり、登るにも一苦労する。私は、ここ30年近く登ったことがない。遠くから眺めるのみである。

名古屋城は、徳川家康が清須から名古屋へ遷府を決定し、加藤清正・福島正則・前田利光等北国・西国の諸大名(わが伊予松山藩の藩主である加藤嘉明も含まれている)に普請を命じ、天守閣や諸櫓の作事は慶長17年にほぼ完成した平城である。しかし、昭和20年5月、名古屋空襲の際、大・小天守閣、本丸御殿はじめ建物のほと

アウト1番スタートの左から
西村先生、戸早先生、小林先生、若泉先生

全医協連　鯱川副会長（ガーデンレストラン徳川園にて）

んどが焼失した。現在の天守閣は昭和34年に再建されたそうだ。大天守は5層5階、地下1階の立派なもので、城の中に入り、階段で上まで上がるとかなり疲れた。レプリカであろうか金鯱も展示してあったが馬くらいの大きさで、ビックリ、たまげた。また、戦災で消失した本丸御殿復元の募金があり、多くの人がチリン、チャリンと入れている。私も倣ってチャリンと入れた。

バスに戻り、徳川美術館に向かう。バスの中では、可愛らしいガイドさんの説明。金鯱は雄、雌からなりうろこの枚数が違うそうだ。雄が112枚、雌が126枚とのことである。途中、ガイドさんから名古屋弁や味噌の説明があった。「なんとかながね」の「ながね」の語尾は良く使うそうだ。しかし、絶対「エビフリャー」とは言わないと。エビフライときちんと言うそうだが、岐阜にいる次男坊が「エビフリャー」と言っていたが??（後で調べるとタモリの造語だそうだ）また何でも味噌をつけて食べることも無いとのことだ。今は亡き、喜劇俳優南利明や民主党の河村たかし代議士の話題もあり、ゲラゲラ、エー?と。バスの中での楽しいリラックスした時間も15分で終り、美術館に到着した。

徳川美術館は侯爵徳川義親の寄贈に基づき、尾張徳川家に伝えられた数々の重宝、いわゆる「大名道具」をそっくりそのまま収め、昭和10年に開館した。ゆっくりと展示品を鑑賞したが、好きな人なら何時間もかかったと思われる。一般庶民と大名はこんなに違うものか。朝の薄曇りはどこへ行ったやら、爽やかな秋だ。蓬左文庫も楽しませてもらい、お昼にする。

さて、ガーデンレストラン徳川園、準備ができるまでウェイティングバーで、しばし待つ。このレストランは徳川園のなかにあるフレンチレストランである。しゃれた食事の後は徳川園を散策する。広い池には鯉が泳ぎ、手入れの行き届いた庭、都会の中でのタイムスリップようだ。時間の経つのは早いもので、あっという間にバスに集合の時間となってしまった。

今回の企画をされた名古屋医師協同組合の皆様に感謝いたします、また初めての名古屋、楽しい思い出を有難うございました。

（広報部会員　河辺忠郎）

ゴルフ参戦記

10月12日の広報部会で、名古屋の総会のことが話題にのぼりました。ゴルフは名門「春日井カントリークラブ」なので、ぜひ参加したいのだが、プレー終了後宮

優勝した若泉　悟先生（左）と
小林会長

ゴルフ大会参加者

崎最終便（中部空港）17：55分は間に合いそうもないので諦めてしまったと話したところ、広報部会出席者の中の二人が17：00の沖縄便、17：30の福岡便で帰るので、間に合うよう三人で早めにスタートすることにして、やっと参加が実現したのである。しかし、そのため小生がゴルフ参戦記の担当になってしまったわけである。

11月2日朝、みなさん早めに集合し、予定通りの6時30分ホテルを出発。日曜日なので、車は快調に飛ばし、1時間からずゴルフ場に到着。少し肌寒い。天気は快晴。今回も小林会長が参加されているので、天候だけは心配なかった。晴れ男であるから。岩田専務は、前夜のアルコールがまだ燃えているのか半袖姿である。若いんだ！　小生は長袖にベストまで着込んでスタート。

名古屋市医協・早川理事長の〝開催地案内〟にあったように、コース設計は名匠井上誠一である。彼は川奈でアリソンと運命的な出合いをし、コース設計の道へ進んだ。最も有名な霞ヶ関ＣＣをはじめ、多数の名門ゴルフ場を作っている。その中の一つがここ春日井ＣＣであることから、まるで恋人に合うようなわくわくした気分でプレーした。あまりにもわくわくしすぎたせいか、自分が自分でないようなゴルフをしてしまった。一見易しく見えるホールでも、ちゃんと罠が用意されている。ただありがたいのは、バンカーがＯＢになるのを防いでくれるように設計されていたこと。池は涸れていたので、視覚から脅されることはなかった。

われわれの組は、小林会長、福岡の戸早常務理事、そして広報部員でもある近畿の若泉先生であった。若泉先生のドライバーは、フェアウェイをはずすことなく、ステディーなゴルフで、またパッティングもうまく、41・39トータル80と素晴らしいスコアであがった。プレー後さっそく入浴し、その後に飲んだビールのなんと美味しかったこと。

長崎の先生達が〝長崎組には、まだ入って1ヶ月の新人キャディーが当った！われわれがフックラインやスライスラインとは、このようなラインを云うと教えるはめになってしまった〟となげいていた。確かにグリーンは下りはすごく速くて、キャディーの助言なしでは大変だったろうと同情した。これも運が悪かったと諦めて下さい!!

小生はこのゴルフをきっかけに、最悪の状態に落ちていく運命が待っていたとは！　沖縄の真栄田先生、福岡の戸早先生と共に表彰式に出席する時間もなく、タクシーで名鉄名古屋へ。斉藤局長より車中の真栄田先生の携帯電話に、優勝は若泉先生、ベスグロも。岩田専務が3位との知らせが入った。運転手さんに急ぐように頼んでも、日曜日夕方のラッシュ。気を揉みましたが、1分遅れたら乗り遅れる際どさでした。電車に間に合ってひとまずほっとしたら、ビールの効果で今度はトイレ探し、一番先頭についており助かりました。

最後に、名古屋市医協の皆様に感謝し、名門春日井ＣＣをラウンドできたことを喜ばしく、お世話頂いた皆様にお礼申し上げます。

（広報部会員　西村篤乃）

日医よもやま話

全国医師協同組合連合会の益々の発展を願って

社団法人 日本医師会
副会長 岩砂 和雄
（いわさ かずお）

私は平成12年に岐阜県医師会協同組合の理事長、そして平成13年より全医協連の監事に就かせていただき、その後は日本医師会の副会長という立場から、微力ながら両者の橋渡しをすべく努力を続けてきました。

なお、全医協連総会における平成20年度の事業計画には次のよう明記されています。「医協未設置県における医協設立に努力し会員拡大を目指すと共に、単医協および地区連合会の発展に努めます」、「日本医師会との協力関係強化に努めます」。この二つの事業目標は、私に科せられた大きな使命であると感じています。幸いにも昨年、日本医師会副会長の宝住先生が全医協連員外監事に就任されました。このように日本医師会の副会長二人が、全医協連監事に任命されることは大変に希であると感じています。唐澤日医会長も深い洞察力でこの連携に高い関心を持っておられますので、二つの使命を前進できたらと願い努力しております。

現在、医療・介護・福祉が置かれている社会状況は極めて深刻なもので、医療費亡国論に始まる医師数の削減、小泉内閣による２２００億円の医療費削減、そして新卒後医師研修制

度…まさに医療現場を混乱と崩壊の危機にさらしています。そして病院・診療所の損益分岐点比率はいずれも95％にせまり、まさしく崩壊が始まっています。加えて昨年より始まった米国のサブプライムローン問題、リーマン・ブラザーズの破綻は世界の金融・経済界にパニックと混乱をひきおこしています。このような広範囲にわたる厳しい環境の下で、健全な医療機関の運営を行うのは至難の業で、我々は英知を結集し協力し、国民のための医療を継続しなければなりません。まさしくここに全国医師協同組合連合会の存在があり、その活動が求められています。

私は岐阜県医師会長・協同組合理事長に就任した時、すでに先陣のご努力により県医師会の重要な関連組織とし、岐阜県医師信用組合、医師国保組合、医師会協同組合が活発な活動を続けていました。当初、私は47都道府県には当然、これらの組織が存在するものと考えていました。しかし医師会協同組合などの組織が全都道府県に存在しないことを知らされ、大変驚いたことを今も覚えています。

このような中で、新たに宮城県医師協同組合は平成16年6月に設立され、平成20年の総会で福祉・購買の両部門で表彰を受けられたことは素晴らしいことです。

現在の厳しい社会環境のもとでは、よりよい日本の医療を志す我々にとって協力して事にあたることが重要で、まさしく強力な医師会協同組合の存在と活躍が求められています。

この機会に、平成21年12月には創立40周年を迎えます岐阜県医師会協同組合の活動を少しだけ報告させていただきます。地道な努力で以下のような事業を展開しています。

保険事業では、損害保険の集団扱いが増加しております。中部医師協同組合連合会の商品『大型グループ共済』は、各県の知恵を出し合い、安心な運営をして加入者への誠意有る対応に心がけています。

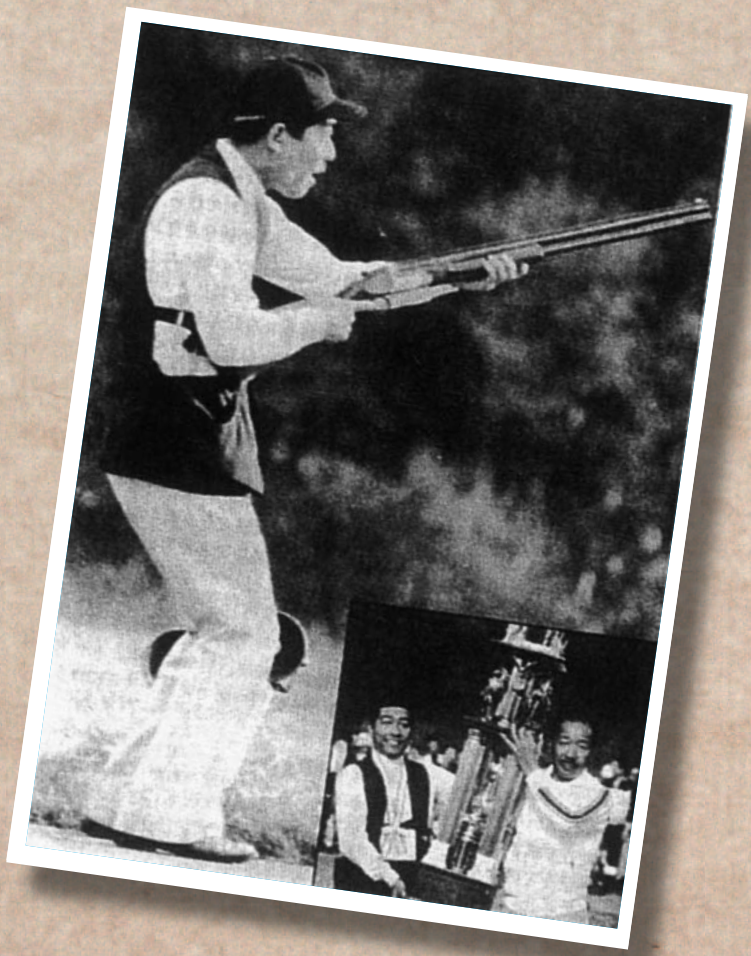
購買事業では、保存版の購買商品冊子を全組合員に配布し、ＷＥＢ販売も多くのチャンネルを提供し、普及率も高くなってきています。

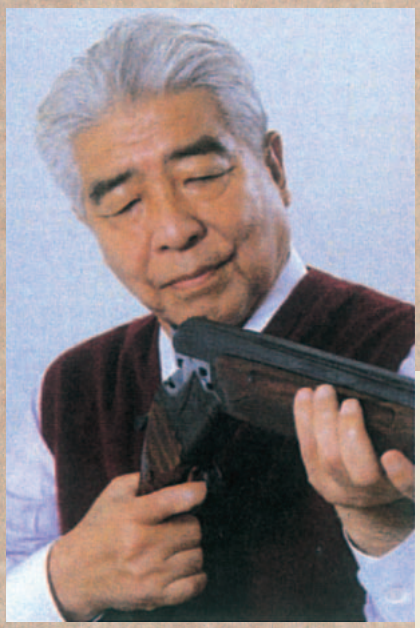
医療廃棄物処理では、全国でも先駆けとなった『環境ガードシステム』(いつでもどこでも出された廃棄物の状況が管理できる)、医療監視時の際に正確に確認できる『電子マニフェスト』などが順調に推移しています。平成20年度には全組合員に『廃棄物の適切な処理の促進に伴う調査報告書』を配布しました。

それでは、全国医師協同組合連合会の今後ますますの結束と繁栄を願い筆を置きます。

オリンピックと私

千葉市（霜整形外科）
霜（しも） 礼次郎（れいじろう）





ペラッツィに惚れ込んだ…と言うより、SCOを50万発撃って使い倒した霜禮次郎先生。元々左利き用だったが、しばらくして効き目が右だったことに気づき銃床を右利き用に替えた。純正ではないため、木材の違いにより先台との色合いがが異なる。銃床のステッカーは、第38回群馬国体に参加・優勝したときのもの。（写真上は昭和54年全日本クレー射撃選手権大会で初出場・初優勝したときのひとコマ）

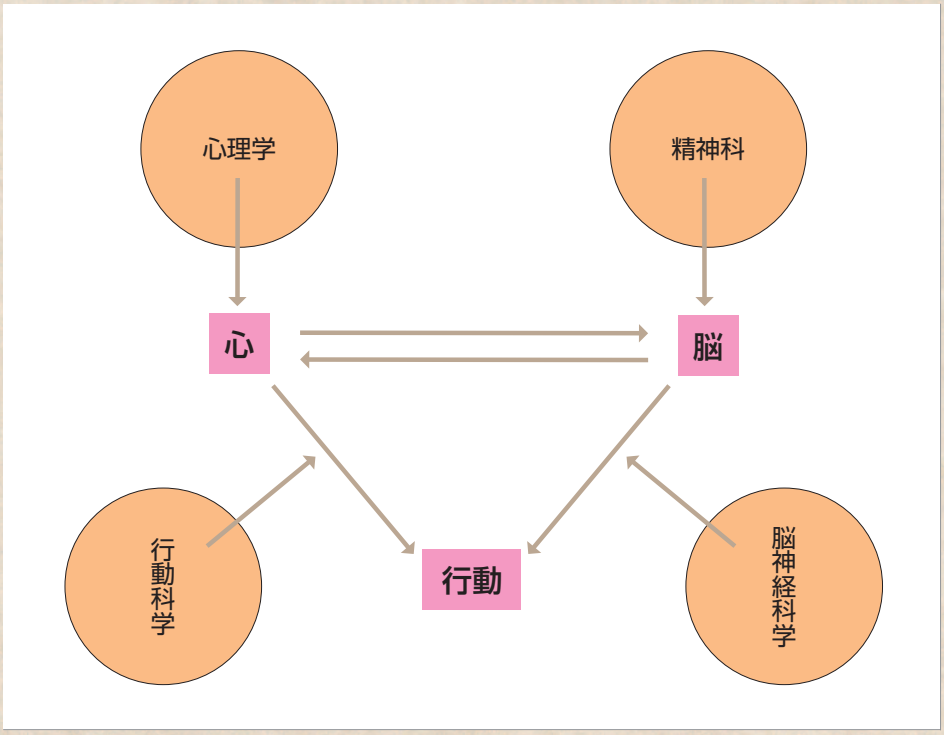


図1　心と脳と行動の関係と専門領域行動科学、脳神経科学は新しい科学です。

一九八四年、ロスアンゼルスオリンピックに於いて、我が国の射撃界に、初の金メダルがもたらされた。その時の感激は、今だに忘れる事ができません。それは、一九八〇年のモスクワオリンピックの候補選手になりながら、日本のオリンピックボイコットのために私は出場できませんでしたが、ロス五輪の時には、チームドクターとして、また世界射撃連合の医事委員の一人として参加しました。従って、四十八歳のピストル射撃選手が、金メダルを獲得した瞬間は、我が事のようにうれしかったのです。

以下、私がオリンピックに関与した経緯について、また日本の選手でも金メダルをとる事ができたと言う事を述べ、オンリーワン・ナンバーワンの我が国独自のメンタルマネージメントの構築について、考察を加えたいと思います。

私の高校一年の時に、剣道が復活しました。高校三年間、文字どおり剣道三昧で、言わば剣道部卒業とでも言いましょうか？　お陰で千葉県の代表選手となりました。医学部に入学しては、剣道部を創設し、東日本医科学生剣道大会に於いて優勝しました。根っから、スポーツ好きの小生は、母校で整形外科に入局し、多くのスポーツの先輩に出会いました。父が、心筋梗塞で倒れ、産婦人科の病院に整形外科を併設し、開業医となりました。三十五歳の時に、剣道でアキレス腱を切断、剣道の竹刀を銃に持ち変え、西洋のスポーツに武道があるかどうかを、探索致しました。剣道の武道の理論に基づいて。クレー射撃のトレーニングを始めて、四十二歳の時に、日本チャンピオンになり（写真）、翌年開催のモスクワオリンピック（一九八〇年）の候補選手になりました。日本が、モスクワオリンピックをボイコットしたために、私は選手としては出場できませんでしたが、その後のバルセロナオリンピックの時には、医

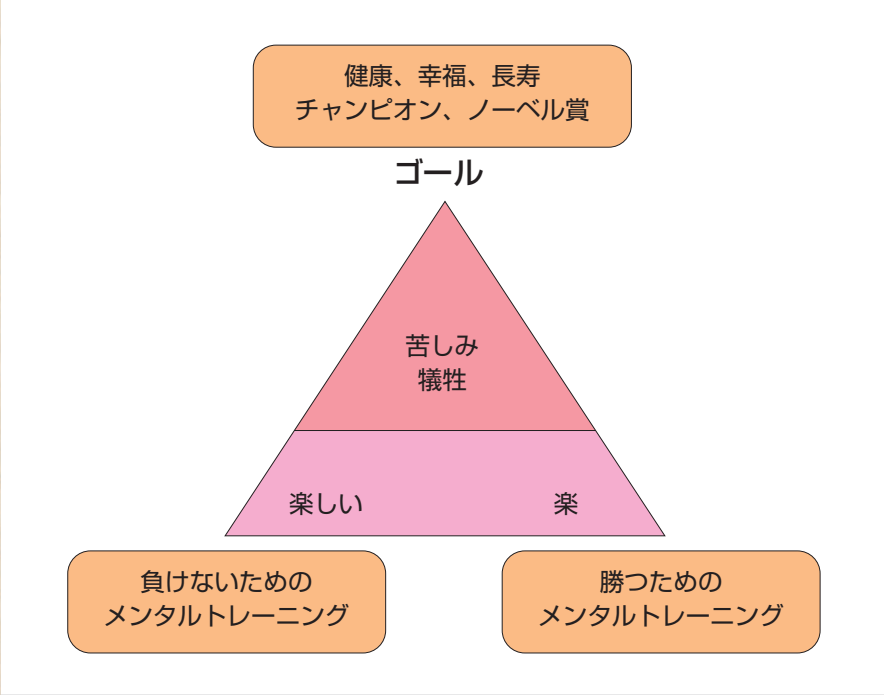


図2　ゴールが高ければ高いほど、苦しみ、犠牲が多くなる。二つのメンタルトレーニングは、ゴールは同じでも、内容が異なる。

禅、座禅、ヨガ、気功、自律訓練法etc. （負けないためのメンタルトレーニング）	集団主義	農耕民族 （定着性）	日本人的	心身一如 （仏教）
目標達成のための行動科学的システム （勝つためのメンタルトレーニング）	個人主義	狩猟民族 （移動性）	欧米的 大陸的	心と身は分離 （キリスト教）

図3　メンタルトレーニングの種類と特徴

者ともあろう者が、監督を仰せつかりました。古橋広之進団長から（霜は、射撃のチャンピオンであり、且つ日本体育協会に於いて「勝つためのメンタルトレーニング」の理論を作成し、日本のオリンピック選手が、金メダルを獲るために多大な貢献をしたから）と言う理由でした。幸いにもクレー射撃に於いて、神奈川の渡辺選手が、同点一位で銀メダル、自衛隊体育学校の木場選手が、ライフル射撃で銅メダルを……日本で初めての、メダル獲得でありました。何と、ラッキーなクレージードクターでありましょうか。

以来、私の勝つための、あるいは目標達成のためのメンタルトレーニング理論は、もてはやされ、全国の講演に大忙しでありました。このメンタルトレーニング理論の根本は、新しいスポーツ科学に基づいた脳科学を導入した理論であり、加えて欧米の、成功哲学を導入した点に、当時としては、新しい理論であったと思います。今でこそ、メンタルマネージメントとか、メンタルとか、あるいはイメージトレーニングなど、ポピュラーになりましたが、これ等は、私が日本に初めて導入し使った言葉であります。心理学は、文学部出身の先生達によって受け持たれていますが、それに加えて、医者が脳科学を導入した事に、大変意義があり

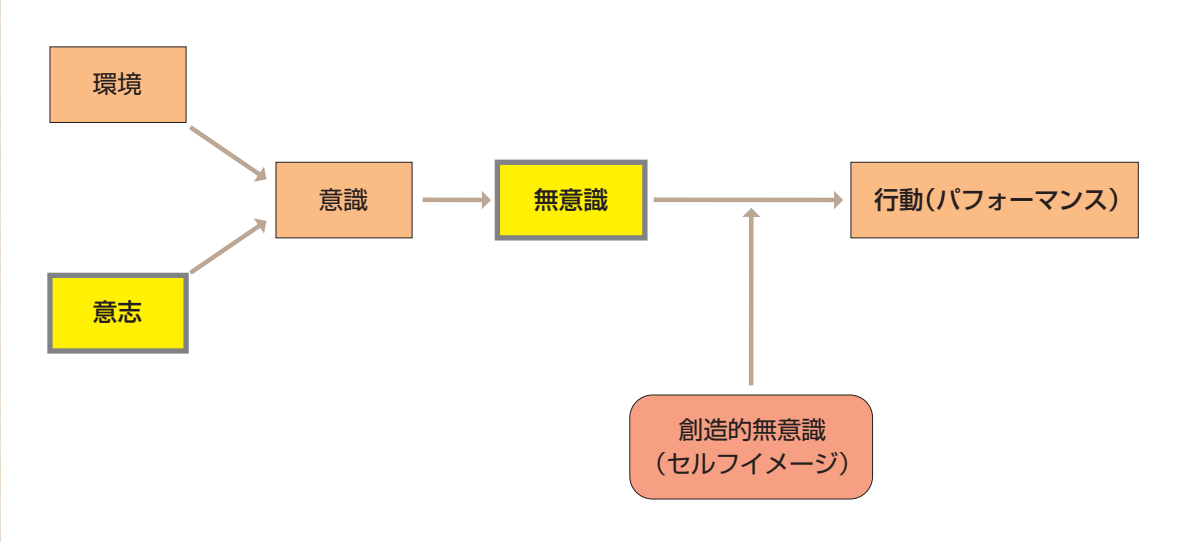


図4　行動科学からみた人間の行動システム……強い意志と無意識の行動は、強く美しい

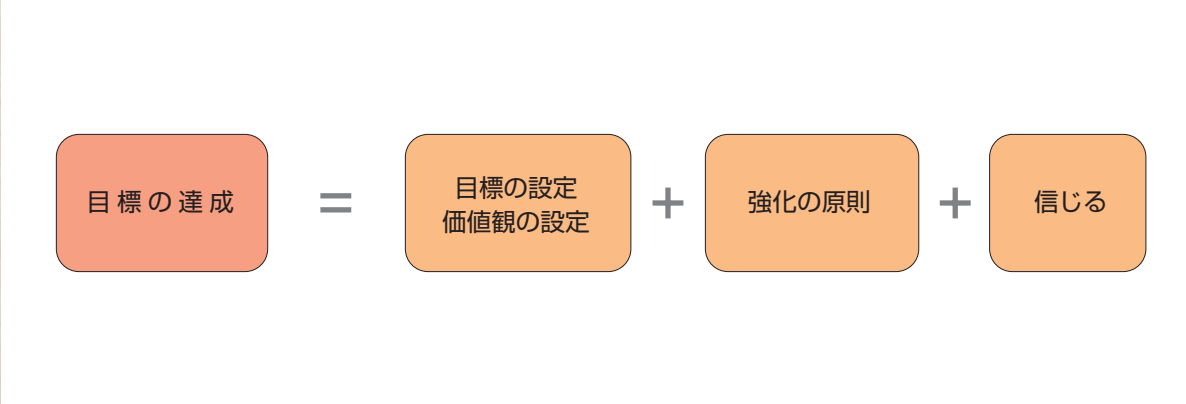


図5　目標の達成のメカニズム

ます。

スポーツ選手のタイプ分けをする時に、右脳型か、左脳型か、あるいは集中力にも差がある事を発見致しました。簡単に言いますと、一点集中思考型、同時複数思考型に分けられます。これ等のタイプ分けによって、トレーニングのプログラムや競技中の思考プログラムを区別する事によって、合理的な指導ができあがります。一般に言う監督のタイプ分け、即ち名選手、名監督ならずと言う言葉にあらわされます。言いかえれば、監督と選手には、当然の事ながら相性と言うものがあります。従って、選手の力を一〇〇パーセント出すためには、指導者と選手の関係が、最も重要になるでしょう。更に加えて、アメリカ流の成功哲学を導入するなら、勝つためには、作戦・戦略が必要と言う事になります。

以上述べたように、私自身の経験と、多くのオリンピック選手の情報を得て、これ等の理論を確立しました(図1～5)。

◆筆者略歴
昭和三十七年　東京慈恵会医科大学卒業
昭和四十四年　スウェーデン、カロリンスカ医学研究所留学
昭和四十七年　千葉市に整形外科医院開業
昭和五十五年　アメリカ、テキサス州射撃学校留学

◆著書
メンタルマネジメント
（ブラックハウス・エイチディ　平成四年）

NUMBERS 南変図 ㉔

なんぱんず

いわて医師協 常務理事
菅原（すがわら） 克郎（かつろう）

＊ 2施設

2008年8月6日、厚労省は微量採血用穿刺器具の使用に関する実態調査を公表。器具を使用した医療機関約1万3千施設で、このうち針を交換せず使用していたのは2施設のみ。感染症発生等の健康被害の報告は無い。

【不届きな2施設のために何万人が血液検査。公共施設・大型商用施設の便器の方が不潔で感染の危険性大。便器も各自に持たせるの？】

＊ 3人

北京オリンピック、星野ジャパン無残な敗退。3塁コーチスボックスにいる山本浩二を見た時に「コリャー駄目だ」と思った。野球は、いまやモンゴルの国技となった大相撲より輝かしい我が国の国技。田淵幸一、山本浩二、そして星野、3人の責任は重い。

＊ 1割

2007年度に三重県が4県立病院の医療費未払い対策（2006年度1億8000万円）として大阪の弁護士事務所に回収を依頼した。委託したのは約5300万円（256件）分で約190万円（46件）回収。

【大阪の弁護士は強面（こわもて）なんだろうな？それでも1割以下。東北地方の弁護士には無理】

＊ 3年未満

介護労働安定センターの調査で、介護労働者の離職率は21・6％で、離職者の7割以上が3年未満で離職している実態が明らかになった。

【医療福祉学校の介護科に目を輝かせて入学したフレッシュな学生さんも就職し実態が分かり、低賃金「夢が破れ」て「山河はあり」としても心の隙間は埋まらない】

＊ 5割

法律の専門家の意見は「司法では、医師の業務を医療行為が50％、説明が50％である」と。

【ある患者さんが、手術前に約1時間かけて失敗例も含めて詳細な説明があり、ハンコも厭というほど押して手術を決断。「何も失敗例まで説明しなくても」と】

＊ 16トン

私が初めて覚えた英語の曲が「シックスティーントンズ」。原曲は、プラターズという外国のコーラスグループが、日本ではカントリー歌手・小阪一也が、もう一人は当時ジャズ歌手だったフランク永井が低音で唄っていた。1985年フランク永井は自殺未遂で重い脳障害で寝たきり状態に、介護疲れの奥さんも自殺未遂の果てに離婚。姉が面倒を見ていたとのこと、10月27日亡くなった。また〝昭和が消えていく〟。

＊ 33・03

日本は、長寿、0歳死亡率は世界トップの実績であるのに、厚労省のデータ（1999年）で幼児（0～4歳児）の病

気・事故による10万人当たり33・03の死亡率は、先進国で最悪と報告。しかも、専門医の治療を受けることなくという死亡例が多い。

【子供には冷たい国日本。連日、虐待死の報道。小泉さんの子供嫌いから始まっている。何もかも小泉さんのせいにしたくなる】

＊48％

今年6月、禁煙推進議員連盟が行った衆参国会議員への喫煙調査で国会議員の喫煙率は48％と日本人一般男性の喫煙率の39・9％を上回った。

【代議士は国民の模範とならなければ、残念ながらその自覚も無い】

＊49手

相撲の決まり手は、48手。政界には、安倍、福田氏ともに「投げ出し」という49手の決まり手が出来た。本家本元の大相撲では、問題児の朝昇龍も「辞めろ」の声が高まっても、なかなか投げ出さない。総理大臣も見習ったら。

＊6000錠

平成20年7月3日、仙台市内の看護師が自分で服用するため6000錠（催眠鎮静剤378錠、感冒薬・胃潰瘍治療薬）不正に入手したとして懲戒免職。「医師が入力するパスワードを後ろから覗き見し、自分で操作し処方した」と。

【長期投与の解禁も問題が多い。1ヶ月処方でも患者に渡る薬の量は半端でない数。それが2ヶ月、3ヶ月となると犯罪者と自殺企図者には・・・】

＊30万人

我が国の自殺者が10年連続で3万人を突破している。10年間で30数万人。アメリカのイラク侵攻での5年間の死者は、9万人余という数字を考えると大変な数。戦場でもない平和の国日本で。

【盛岡市の人口は、町村合併で1昨年やっと30万人、10年間で盛岡市の人口が全くなくなったことになる。街から人が消えたら・・・戦場より政治の貧困は厳しい】

＊2億円

9月25日で千葉県銚子市立病院が閉鎖、医師の減少と負債の増加で病院経営が出来なくなったことが原因。しかし、病院が閉鎖されても医療器械のリース料金の2億円は払い続けなければならない。

【事業が上手く行っていれば、リースは便利。一端、経営難で事業辞めても・・・リース料金は追い掛けてくる。過酷なことだ】

＊8億円

2008年夏、国会議員の夏休み海外旅行費用、飛行機はファーストクラス、全て税金。現在、海外の情報は、インターネットも含め、国内で居ながらにして詳細に取得できる。海外にまで出て、つたない語学力で何を聞くのと言いたい。しかも、政府はIT化を推進している。いまどき幼稚園児でもお年玉を貯めて海外に行っているというのに、大の大人が税金で・・・国会議員にコスト意識は無い。

＊11月11日

7月27日、厚労省は11月11日を「介護の日」とすることを発表。〝いい日、いい日〟にかけてとのこと。

【「世界のナベツネ」のように5（護）と5の倍数で厭な顔になると、8月15日の終戦記念日が良かった。「後期高齢者保険証」は生還できない二度目の赤紙。「いい日、いい日」とはおこがましい】

＊2034年

9月12日、厚労省は9月1日現在の百歳以上の高齢者3万6276人。2034年には百歳以上が100万人になるとの予想。

【犬の散歩には排泄物の処理のためのビニール袋が必需品、2034年には人間様のためにビニール袋を用意して歩かなければ】

旅のブラックエッセイ

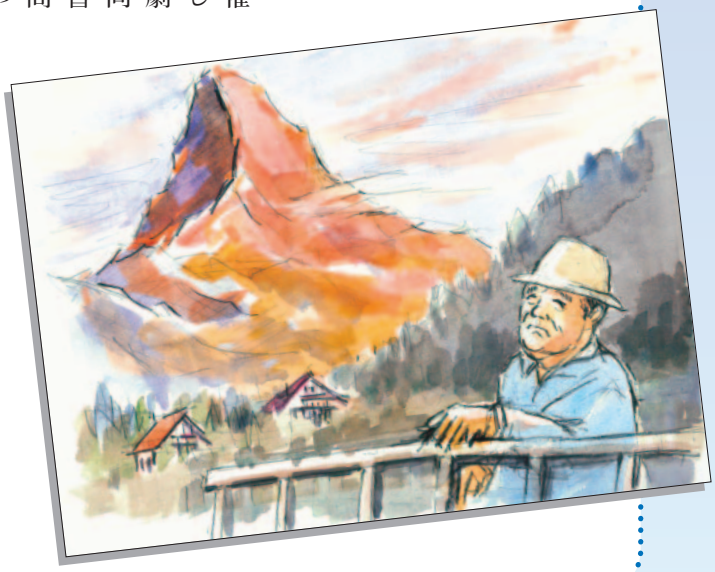
寝呆助に間に合った赤い峰！
北伊・瑞西名峰の旅に参加して
マッターホルンが赤富士に！

京都保事協　松井（まつい）昭男（あきお）
挿絵／京都保事協事務局長　大森俊次

一昨年七月初旬市ケ谷のH旅行社の催行した北イタリア、スイス旅行に参加した。ツアーの目玉ベローナの野外円形劇場での歌劇の観賞を済ませ、スイスに向かった。我々の中型バスはミラノより暫くはハイウエーを走っていたが何時の間にか道は細くなり、山道を走る様になった。ふと気が付くと道標にシンプロンという字が見える。シンプロン峠といえば確か猛将ハンニバルが軍を率いてローマに攻め込んだ時、アルプス越えをしたのがこの峠だったなあと、不確かな記憶を蘇らせて眺めていたら人のいない税関の門をスッと通過してスイスに入ってしまった。

旧道(?)をグルグル廻ってバスが走っていると、観光写真で見慣れたマッターホルンの峰が見え隠れする様になった。乗り疲れでボーとなった頃にツエルマットの街に到着した。駐車場の関係で駅前広場で降車してホテル迄歩く。

夕食はホテルレストランでフォンジュ料理、頭では良く知っているが何十年か前に京都のレストランで一回食べた事のある料理、美味しいのか美味しくないのか解らない間に満腹してしまった。所詮日本人高齢者には理解出来ない味だ、とブツブツ云いながら部屋に戻ってきた。夕刻トラベルフレンドに誘われて町並みの散歩に出掛けた。メインロードは結構雑踏している。各国語に関西弁、関東弁が飛び交っている。矢張り観光地は何処も同じであるなあ、と妙な感心をしながら部屋に戻り就寝の準備をする。添乗員の御託宣によれば明朝五時半集合、マッターホルンの日の出を見に行くとの事。



朝日に染まるマッターホルン

シンプロン峠への地道

ツェルマット駅前広場

寝呆助の私が起きられるかと些か不安になった為早々に眠りにつく事にした。

眠る事については誰にも引けを取らぬこの私、アッと云う間に寝付いてしまった。夜中何時か知らぬがトイレに起きた記憶はある。フッと気がつくと枕元の電話がジャンジャン鳴っているではないか。モーニングコールと思って受話器を取り上げる。出てきたのはトラベルフレンド。「今何時と思ってるの。もう日の出を拝んで帰ってきたよ。」と怒りを含んで宣っている。慌てて三分間で洗顔、服を着て飛び出した。モーニングコールで反応なくドアをノックしても駄目なため、止むを得ず皆で出掛けたと云う。パーティ全員の非難の眼を背中に感じながらカメラを持って走り出した。マッターホルンの良い写真をと思いながら参加したのに赤富士ならぬ赤マッターを撮る機会は今しかないのだ、と云う思いが足を急がせた。

ツェルマットの駅前を通って教えられた撮影場所に急いだが、団体客と思われる一団と行き合った為前へ進めない。周囲は朝の気配から脱しつつある。焦る私の心と裏腹にツェルマットの街は明るさを増してくる。と、頭を上げると半分程赤く染まったマッターホルンの峰がはっきり見えるではないか。急いだ為に息は弾むし、眠気も未だ残っている。身体の状態が可笑しくなってきた。斯くなる上は仕方がない。雑踏の中立ち止まってマッターホルンにシャッターを切る。「どうせ碌な写真を撮れる様な腕でない事は解っている。」等と心の中で呟きながらホテルに戻って来た。

帰国して現像焼き付けをして貰った。写真屋のオッサン曰く、「先生、せめてもう少し手振れが少なくなりませんか。ピンボケが多いですなあ。それでもマッターホルンは写ってますなあ。」矢張り私は不器用と悟っている今日此の頃である。

全国露天風呂番付“西の横綱”　湯原(ゆばら)温泉(岡山県)

砂湯

岡山県北部の美作(みまさか)地方には、湯原温泉、湯郷温泉、奥津温泉と、三つの特色ある温泉地がありますが、これらは美作三湯(みまさかさんとう)と呼ばれ、古くから多くの温泉客で賑わっています。

湯原温泉は、清流旭川の川床から湧き出る野趣豊かな露天風呂「砂湯」で有名です。「美人の湯」「子宝の湯」「長寿の湯」と、温度が違う3つの湯船がありますが、どれも囲いが無く、まさに天然のいで湯といった風情で、全国露天風呂番付では、「西の横綱」にランクされています。そこにつかればいつしか心の囲いもとれ、知らないもの同士での会話も弾んできます。

「砂湯」はもともと平安中期の僧侶によって開かれ、初代津山藩主・森忠政が、川床から湧き出る泉源を石で囲って湯船を作ったと伝えられています。川の両岸には旅館やホテルが建ち並び、それぞれが独自の露天風呂や浴場で温泉客を集めています。

泉質はアルカリ性単純泉で、泉度52度、湧出量は1分間に1,300リットルと豊富で、慢性リウマチ、神経痛、神経炎、慢性皮膚炎などに効能を発揮します。

露天風呂番付
東
西
横綱
湯原
横綱
湯郷
関脇
奥津
関脇
湯郷
大関
湯郷
大関
奥津
関脇
湯原
関脇
湯郷
関脇
湯郷
関脇
湯郷

海流の中のホテル　ホテル西長門リゾート（山口県下関市）

「長州は奇兵隊の国である」司馬遼太郎さんが「街道をゆく」でそう表現された山口県下関市は本州の最西端に位置し、古くは源平の合戦壇ノ浦古戦場、武蔵と小次郎の巌流島、奇兵隊決起、馬関戦争、下関条約等といった数々の歴史舞台となった、歴史と海峡、そして河豚の街です。

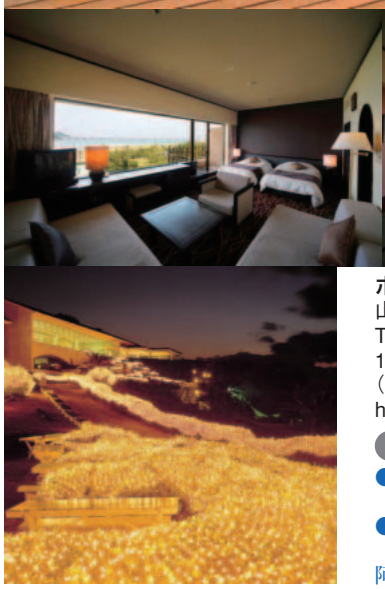
そんな下関市の北西部に位置し、北長門海岸国定公園に含まれる角島（つのしま）を望む対岸の橋の袂に、つくの温泉海岸ホテル西長門リゾートがあります。角島は平成12年に長さ1,780mの橋が架かかり（無料）、映画やドラマ、CMのロケ地として度々取り上げられるほど、白い砂浜とエメラルドグリーンの海を有する、とても美しい島です。そしてその橋の袂に位置するこのホテルの最大の魅力は、その美しい海と一体化したような開放感満天の露天風呂と一枚ガラスの窓を持つ客室や庭園から望む、白い砂浜とオーシャンビューです。日本海と響灘がぶつかりあう海士ケ瀬の景色は感動的です。

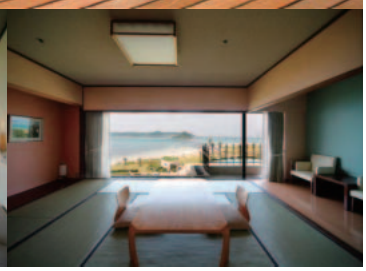
また、夜になると庭園のイルミネーションがリゾート気分を更に盛り上げてくれ、訪れた人の心を必ずや奪うことでしょう。

歴史探訪、河豚とあわせて、大自然がおりなす絶景としおかぜを体感されてみませんか。

お越しをお待ちしております。

（下関医師協同組合）





ホテル西長門リゾート
山口県下関市豊北町つくの温泉海岸
TEL083-786-2111　0120-024-710
1泊2食付お一人様2名一室¥15,900円（税サ込み）より
http://www.kgh.ne.jp/10/

アクセス
●車――下関ICより約70分
　　美祢ICより約60分
●JR――下関駅→阿川駅1時間25分
　　東萩駅→阿川駅1時間20分
阿川駅まで送迎をいたします。

平成20年
「生命保険販売促進キャンペーン」

キャンペーン入賞者の声

平成20年4月より7月までの4ケ月間、生命保険会社の募集人を対象に『生命保険販売促進キャンペーン』を実施しました。今回入賞された方の「キャンペーン入賞者の声」をご紹介いたします。

お客様第一主義

益満（ますみつ） 美登（みと）
東京海上日動
あんしん生命保険
代理店名（有）益満

このたびは生命保険キャンペーンに入賞させていただき光栄に思っております。

医師協同組合連合会様および関係者の皆様、そして会員の先生方に御礼申し上げます。

弊社は、創業32年、鹿児島では東京海上グループの老舗代理店になります。生命保険だけではなく、生損保両面から先生方の個人・法人のリスクをトータルでコンサルティングさせていただいております。万が一のときの死亡保障はもちろん、法人の退職金、事業承継、相続等の生命保険分野、最近話題の個人情報漏洩、医療訴訟、所得補償等の損害保険分野　考えられるリスク全てからお守りさせていただいております。

今回、こんな光栄な賞をいただいたのは、リスクコンサルティングだけではなく、お客様に少しでもお役に立てるような情報を提供できるようになったからだと思っております。昨年から、全国の先生方をコンサルティングしている東京海上日動あんしん生命 ライフパートナー須田一氏から支援いただき、そのおかげで先生方からいつも以上に「ありがとう」といっていただけるようになりました。受賞できたのはそういった先生方から多数紹介をいただけたからです。私どもの仕事はいたってシンプルです。先生方にお時間をいただき先生方が望まれる短期、中期、長期の話を伺い、将来かなえたいビジョンを伺います。それにあわせて考えられるリスクに備えてプランニングしていきます。従来、生命保険は生命保険の外務員、損害保険は代理店、税金対策は税理士、とそれぞればらばらに手続きされていたものを総合的にソリューションをご提供させていただけるのでわかりやすいと言っていただいております。

昨今、先生方にお会いすると開口一番におっしゃられるのは「経営が大変だ」ということです。先生方は日々「人の命」という責任重大な医業をされています。多くはパートナーの奥様がその右腕となり、先生、職員、患者さんの事を考え、日々奮闘されてらっしゃいます。それなのに度重なる厚生労働省の診療報酬改定に、医業に特化されたい先生方も「経営」という本業以外のことに時間を割かなければならないのが実情です。加えて権利意識の増大で訴訟やクレームにつきあわされ、はたから見ていても心苦しい限りです。「休むと代診の先生を頼まないといけないから家族で旅行にもいけないし、死ぬまで働かないといけない」という嘆きにも似た声を何度伺ったことか。せめて、そんな先生方だからこそあんしんしておすごしいただきたい、そんな先生方の少しでもお役に立ちたい、心からそう思います。確かに保険でできないこともたくさんあります。ただ、情報と、生損保両面から先生方をお守りすれば、保険

でできることも多くあります。

生損保に最新の情報をあわせて総合的なソリューションをご提供させていただけるよう日々研鑽し、生涯にわたって先生方をお守りする覚悟をもって精進していく所存です。私も含め社員一同の仕事の根本にあるのは、亡き創業者の父がモットーにしていた「お客様第一主義」。目先の利益にとらわれず、10年後も、20年後も恥ずかしくない仕事でお客さまのお役に立ち、末永く先生方をお守りさせていただきたいと思います。

強い信頼の絆

瀧（たき）　伸一（しんいち）
東京海上日動
あんしん生命保険
代理店名　ネクサスライフ

この度は、「生命保険販売促進キャンペーン」に入賞させていただき、このように「全医協連ニュース」にてご紹介いただけることを大変光栄に思います。また会員の先生方には日頃より大変お世話になっており、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

さて、平成16年に初めて入賞した際、「真のインシュアランスプランナーへ」と誓いまして、早いもので5年の月日が経ちました。この間、私自身保険の販売を通じ、たくさんのことを学ばせていただきました。

その中で最も印象に残っている事があります。あるお客様が談話の中で「人間は耳が2つに口一つ。多く聞いて少なく言うため」また、「言葉を話せるようになる前に私たちの誰もが『聞く』ということから出発している」と話されました。その話を聞いて、子供の頃祖父も同じことを話してくれたのを思い出しました。と同時に、この仕事に携わっている私自身の姿を他人の視点で見つめ直し、ハッとさせられました。

いかに、相手の話に耳を傾け、想いを理解する事が難しいのか。どうして人は自分の知っている事だけを喋りたくなるのか。つくづく日々の対話の中で実感します。

そうした中、私は「真のインシュアランスプランナー」とは、最適な保障の提案、提供のみならず、人として、人と人の対話を尊重し創造し形にする仕事。そのような役割があることに気付きました。さらに、人と人との繋がりの大切さ、お客様との対話の重要性、必要性を痛感し人と人との信頼の原点を考えさせられました。

今後も、私共ネクサスライフの理念であります、お客様からの信頼を第一に、保険の提供を通じ、総合リスクコンサルティングのプロとして、安心できる暮らしとビジネスの発展に貢献する日々を努力してまいります。その為に、お客様との対話の品質、サービス品質、仕事の品質にこだわり続けたいと考えます。そしてその先には、お客様との強い信頼の絆があると信じています。

最後になりましたが、全国医師協同組合連合会様の益々のご発展と会員の先生方のご健勝を心よりお祈り致します。

平成20年度 事務局代表者会議レポート！

平成20年12月6日（土）7日（日）に東京秋葉原　富士ソフトアキバプラザにて開催された『平成20年度　全医協連事務局代表者会議』についてご報告します。

調査企画部調査研究員　竹川雅美（岐阜県）

平成20年師走、ＪＲ秋葉原駅に降り立ちました！　美しい青空の下、凛とした寒さです。

全医協連職員の皆様が誘導され、笑顔でお迎えしてくださり、素晴らしい会場に着いて安堵しました。

さて、今回で3回目になる『事務局代表者会議』です。全医協連調査企画部で立案、運営を担当しました。戸早部会長・横井副部会長に牽引され、大森（京都）・萩原（福岡）・竹川（岐阜）の三名の調査研究員は塚越係長（全医協連）を頼りに、「来て良かった、話が出来て良かった、少し気が楽になった、これからも頑張ろう」と参加者に思ってもらえる会にしたいと、メーリングリスト等で連絡し合い、三人で一人前『文殊の知恵』をひねっていました。

日頃は全国に散らばっているが、仲間として一緒に学び、話し合う機会を全医協連で提供しよう。事務局代表者を元気にできれば、事務局全体が明るく、組合のために働ける！　と考え、手探りで準備したものです。

そもそも、組合の歴史、規模、事業体の形や内容、組合員数や職員数の多少など、それぞれ各組合の現況は違います。それでも事務局の代表として、普遍的悩みを、日夜真面目に皆が考えています。組合の中で事務局がどうあるべきか。いかに生き生きと組合の中で働いていけるか。後輩たちへ伝え、繋いでいくには、育て方をどうしたらいいか。

こうしてテーマが決まりました。『事務局の悩みあれこれ』です。

しかし、メーリングリストに講師の清水透先生を交えた後、清水先生の演題『事務局の誇り』を聞く内に、戸早部会長が「誇りを忘れ、驕りになりやすい。考えさせられる良いテーマですね」と発言され、自然と『誇りと驕り』が調査企画部ではサブテーマになっていました。

では当日の模様に戻りましょう！　今回は初めての試みを多く盛り込みました。

まず、会場は高層ビル、富士ソフト秋葉ビル内のアキバプラザです。

「みんなで学びましょう！」と学生時代を思い出させる『階段教室』で、メインの講演が開かれました。最初マイクトラブルなどもありましたが（何せＩＴ最先端ビル故、ワイヤレスマイクは使えず、回線が混線するとトラブル発生です）、15時に岩田専務理事が明るく大きな声で『開会』を宣しました。続いて小林会長が『全医協連の現況』を丁寧に誠実に話されました。

さて講演が始まります。

『人材育成～成功と失敗のハザマを行ったり来たり～』京都府保健事業協同組合　事務局長大森俊次氏がかろやかに登場しました。調査企画部の一員であり、講演も担っていただきました。印象深く残った言葉をあげさせていただきます。

「人間としての、心の豊かさを、スキルアップより優先したい」

「個性がそれぞれある職員である、教えるより引き出す姿勢でいる」

「私にとっても立ち返るべき原点があるように、職員たちにも因るべき原点をもって欲しい」

「新入職員には、先輩たちが各々一時間自分のやっている仕事を話してもらう。こうしたことで、自分の仕事をあらためて見直せられる」

「中小企業庁長官として組合法を作った蜷川氏が京都府知事になった。京都府保健事業協同組合は昭和26年（１９５１）に設立した、と職員には歴史経緯を話している」

「部下を信じ、成長を待てば、組合の成長に繋がる。当組合で将来を嘱望した優秀な部下が退職した。終業のチャイムが鳴り、ご苦労さん！　と肩に手を置いた。ずっとクールで感情を露わにしない彼が、涙を滂沱と流した。送る職員たちとも、涙の別れとなった。そして、埋められない穴のように思えた

全医協連／小林会長

京都保事協／事務局長 大森俊次氏

北海道医協／保険局長 田中　猛氏

彼の不在も、次世代の職員たちが成長し、埋めていってくれた。そんな体験があります」

たぐいまれな話術で、芸術を引用、歴史をふまえお話しいただきました。仲間からこうした講演をいただけるとはうれしいことでした。聴く皆さんも、リラックスして楽しまれ考えさせられていました。それにしても『中小企業等協同組合法』発足の昭和24年（1949）生まれでいらっしゃるとは、協同組合の申し子です。

［講師紹介］
京都府保健事業協同組合
（組合員1、057名、職員21名）
大森氏は「スケッチをされ、ウイットに富んだお話を書かれ」JMCニュースでも有名です。また、組合員相互のつながりの強化や、楽しい企画を実現されておられます。また、組合士としては、京都府の副会長です。職員にも資格取得をすすめられ、多数の組合士を育てられています。

5分間の休憩を挟み、

『職場のルールブック作りと従業員教育』北海道医師協同組合保険局長 田中猛氏が昨年に続き特定社会保険労務士の立場から講演いただきました。いつもながら、にこやかな笑顔で颯爽と登場です。

パワーポイントで資料をご用意下さいました。参加者は自分たちの就業規則を持参し、田中氏の指摘を頷きながら確認していました。印象に残った言葉をあげます。

「就業規則は生き物、いつも見直しが必要だ」「『解雇』などの項目は20くらい必要だ」

「労働基準法は労働者を守る法律、守らねば刑法に触る」

「ドイツでは何度も何度も憲法を改正している」

「職場のルールブックを作成していこう」

いつも道内の組合員医院、病院で直接指導されているお立場上、実際に遭遇した事例なども交え、皆興味深く聴き入りました。

［講師紹介］
北海道医師協同組合（組合員1、414名、職員11名）はDLS（ドクターライフサポート）という別会社でのお働きが全国でも珍しく、組合員からの社労士としてのニーズをつかんで居られます。毎日ブログでは、前向きに努力される様を書いておられます。組合士としては北海道・東北地区の会長をされています。

続いて購買チラシコンペの応募作品18点の紹介、パワーポイントで次々と映されました。これは購買部 尾高調査研究員が発表されました。

懇親会は場所を移しました。5階レセプションホール（広々としたホールです）にて、立食ブッフェでした。大森調査研究員が「司会の方が向いています！」と楽しく導かれ、戸早部会長の開会、

「購買部チラシコンペ」入賞者

清水　透氏

鮏川副会長の乾杯へと続きました。購買部のチラシコンペ表彰は購買部の甲斐調査研究員がされました。

ちなみに①一位　北海道医協『ＯＲＣＡ』②二位三位同点で　名古屋市医協『ＯＲＣＡ』、鹿児島県医協『指紋認証ドアロック』、それぞれの事務局代表者が購買担当者に替わって受賞しました。

閉会挨拶を、横井副部会長よりいただき、散会となりました。

さて翌日、ソフトな萩原調査研究員の司会にて、開会挨拶を眞瀬副会長にいただき9時から開催しました。昨日の二題の講演もお聴き下さって、清水透氏が貫禄の登場をされました。

階段教室の生徒たちには昨日とは異なり、ビリビリと緊張が走りました。

清水氏の講演はスピーディかつエネルギッシュです。印象に残ったのは。

「『誇る』の語源は「穂肥ゆる」、稲穂を立派に実らせるのが組合の使命、穂肥ゆるをみて静かに微笑むのが事務局」

「今こそ協同組合の時代」

「組合は、選手を育てて戦うプロ野球チーム、会社は、お金で良い選手を集めて戦うプロ野球チーム」

「会議は満場一致に持って行く。意見が食い違うとき、よく聴いていると違う話をしている。一歩退いて考える」

「事業計画、三年先のあるべき姿を思い描けるか」

「分析、気づきを与える。トンネルの出口に、ライト消してくださいではなく、ライト点いていますか？　の看板から」

その他、多くの実例を挙げられ、私たちを考えさせ、気づかせてくださいました。

［講師紹介］

清水氏は中小企業診断士として、全国各地で講演をされ、中小企業の活性化にご尽力されています。平成18年度の全医協連事務局代表者会議でも法改正の講演をいただきました。略歴は、東京都中小企業団体中央会ご奉職の後、中小企業大学「人材育成支援アドバイザー」就任、全国中小企業団体中央会官公需関係委員就任、全国商店街振興組合連合会商店街近代化研究会委員就任、ご著書には「中小企業組合　理事のためのＱ＆Ａ」等多数です。

さあ、いよいよ今回初めての試み、円卓会議が始まります！　階段室から移動しました。

円卓会議については

＊初めての試みです、構えずご参加下さい、自由に発言下さい

＊まずは二日間の講演を聴き、疑問点、反論等から発議の予定です。

＊結論は出ないが、今後も自由に話せる機会づくりを提供したい。

このようにご説明の後、前列にぐるりと地区の代表者が並びました。

司会は全医協連塚越係長、コーディネイトは清水氏です。なお、メンバーは以下の方です。

宮城県：渡部事務局長

（北海道東北地区代表）

調査企画部／戸早部会長

円卓会議の様子

西東京：尾高事務長
（関東甲信越地区代表）
石川県：米澤次長（福祉部代表）
静岡県：植山事務長（中部地区代表）
滋賀県：落合事務局長（近畿地区代表）
岡山：在間事務長（中国地区代表）
徳島：大平事務長（四国地区代表）
筑紫：原口事務長（九州地区代表）
宮崎：甲斐事務長（購買部代表）
そして講演された北海道の田中氏、全医協連齋藤事務局長、調査研究員の大森氏、萩原氏、竹川です。

この席では講演から触発された発言、各組合の悩みや、それに伴い講師への質問などがされました。なお、後列からの発言は出ませんでした。これは事後アンケートなどから察するに、マイク無しのため、会場隅々に発言が聞こえなかったからのようです。次回への反省点とし、2回目には皆が経験をふまえて、もっと自由に発言いただけるものと期待しております。

印象に残った発言、回答では

「就業規則やルールブックのひな形を提供していただければありがたい」

「組合士資格をもつことにより、事務局も背骨が通り、理論の裏付けが出来る」

「全医協連での未設置県の組合設立については、もっと丁寧に説明指導が必要」

「職務権限についてもしっかり把握をしないと、大変な事態となる」

「職員の人事異動や適材適所をどう考えるか」

「職員の指導はどこまでするか」

「組合員に喜ばれる仕事とは」

「職員と役員との連携は」

コーディネイター清水氏の勇気づけられるまとめの言葉、戸早先生の総評で元気をいただき閉会となりました。

後日談です、多くの好評にもかかわらず大森氏は「もっと伝えたいことがたくさんあったのに、不出来で申し訳ない」と嘆かれておられました。また、田中氏は数日前にお母様を亡くされ、通夜、葬儀を終えられ、疲れ切っておられたなか、講演に穴を開けられないと責任感から、つとめて下さいました。そういう素振りも見せないお姿に、小林会長、岩田専務、戸早部会長は、感謝と励ましを込め、そっと握手をされていました。

仲間からのお二人の講師、そして二日間しっかり参加いただき、皆を引き上げてくださった清水氏に心より感謝いたします。清水氏の組合への情熱が皆さんに伝わったことでしょう。

折角全国に仲間が多くいるのですから、助け合い、知恵を出し合って、事務局が組合発展の原動力になれるよう、その一助として『全医協連事務局代表者会議』があればと、調査企画部は願っております。

参加された76名の皆様、お疲れ様でした。また元気にお会いしましょう！

スケッチブックを道連れに

第1回 バルト海紀行

大森（おおもり） 俊次（しゅんじ）
（京都保事協/事務局長）

ヘルシンキ

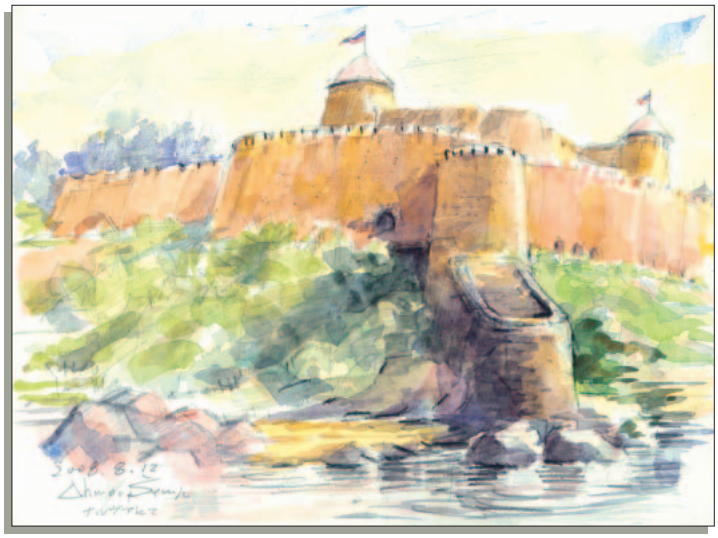
世界を股にかけて活躍する冒険映画のヒーローに憧れている。その一方で四畳半の書斎で古臭い私小説に耽っていたい出不精者の僕が、イジケ心を払拭し10時間の飛行を経て降り立ったのはヘルシンキ。バルト海に向かって広がるフィンランドの首都だ。フィンランドと言えばムーミンの国。めったに土産を所望しない家人たちから「ムーミンの絵本を」と旅立ちに乞われた。もはや僕の素人スケッチ土産だけではごまかせなくなったみたいだ。

タリン

ヘルシンキ港を出た船はバルト海を南下し、バルト三国の一つエストニアへと向かう。こうして「ヘルシンキからエストニアへ」と書いていたら、なぜか5年前のヘルニア手術を連想し急に鼠頚部がムズムズし出した。そのエストニアの首都タリンは、中世の面影を残した美しい街だ。早朝に一人で散歩に出かけ中央広場近くでスケッチブックを開いたが、朝の大気の清澄感をあらわすには、僕の描写力では不十分、まだまだ修行がタリンなあ。

エストニア野外博物館

武力行使でなく音楽祭という国民的行事で、ソ連邦からの分離独立を勝ち取ったことを誇りとするエストニア。タリン近郊の野外ホールは、独立を求める大合唱「わが祖国わが愛」が響き渡った場所だ。その話に感動した直後に見学したためか、野外博物館にもエストニア文化の良質さが感じられた。白樺そよぐ深い森に点在する民家の隅々には、家族や隣人をこよなく愛する民衆たちの自然と調和した暮らしぶりが確かに息づいているようだ。



ナルヴァ

国境に建つナルヴァ城からロシア側のイヴァンゴロド城をスケッチした。天然の要塞ナルヴァ川を挟んで、二つの城が睨み合っていたわけだ。イヴァンゴロド城には今ロシア国旗がはためいているが、おそらく双方に痛ましい歴史もあったのかなあ。お互いを認め合い努力したなら、映画『戦場のアリア』のような奇跡も起こったかも知れない。ハイここで一句、「ナルヴァ成る、成さねば成らぬ何事も、ナルヴァは美しき国境の城」。おそまつ！

サンクトペテルブルク

僕らの世代にはレニングラードという名前の方がやはり馴染み深い。ネフスキー大通りを散歩しながら、学生時代に熱いまなざしで読んだ『世界をゆるがした十日間』を思い出し、ロシア革命の現地ルポであるこの本の著者ジョン・リードの短い生涯に思い馳せた。その映画化『レッズ』でのウォーレン・ビーティーとダイアン・キートンのセピア色のラブシーンが瞼に浮かび、ネヴァ川を渡る風に吹かれつつ、人恋しい気分になってしまっていた。

『モンスター・ペイシェント』
―崩壊する医療現場

◆著者――南　俊秀（福岡医師協理事）
◆発行所――角川エス・エス・コミュニケーションズ
◆定価――八一九円（税込）

〔内容〕
医師不足、「モンスター」と呼ばれるクレーマー型患者の増加など、崩壊寸前の医療現場の実態を、実体験を交えてリアリティに溢れた筆致で綴る。窮地にある日本医療を再生させる方策はあるのか。

『日本の人口は減らない』
―医師の論理で導く「新・人口論」

◆著者――南　俊秀（福岡医師協理事）
◆発行所――マネジメント社
◆定価――一、六八〇円（税込）

〔内容〕
これからの日本は、少子高齢化の進展によって、人口がスパイラル的に減少するといわれています。しかし、本当に日本の人口は減り続けるのでしょうか？医師である著者が、人口が減少するという政府の見方に対して、生物学的、医学的な視点から反論を試みる。

理事会だより 第三回

全医協連専務理事
岩田（いわた） 章男（あきお）

米国のサブプライムローン問題に始まりリーマンブラザーズの経営破綻、さらには全医協連には一番の心配事であるＡＩＧの経営危機、理事会開催直前の大和生命の経営破綻など世界の金融危機という大問題を抱えたその時期に、暑かった夏がようやく過ぎ秋晴れの清々しい天気の中、10月12日(日)に平成20年度第1回の理事会が全医協連会館2階会議室にて開催されました。

小林体制になってから約1年が過ぎ、皆さんもだいぶ慣れてきて和気あいあいとした雰囲気になってきました。

まず、報告事項が各部の担当理事よりなされましたが、総務部・財務部に関してはいつもと同様な報告でした。広報部は、ＪＭＣニュース110号につき報告があり、今後とも内容の充実を図りたいとの決意でありました。調査企画部は、9月27日(土)開催の調査研究会の報告があり、12月6日(土)～7日(日)開催予定の事務局代表者会議スケジュールなどの説明がありました。購買部と福祉部は、平成19年度表彰組合の選定などの報告がありました。休診共済会は、9月17日(水)開催の常務会におけるさくら共同法律事務所からの一般社団法人設立手続の概要説明と、山田＆パートナーズからの新公益法人税制・改正のポイントについて説明を受けた旨報告がありました。最後に、事務局からＡＩＧ経営危機と大和生命破綻についての経過報告がありました。

続いて議案審議に移りました。

第1号議案は、第36回通常総会にかける平成19年度事業報告および決算書類検討の件についてですが、私岩田も天野財務担当理事も今回の総会がいわゆるデビュー戦であり、議案説明にぎこちないものがあるので総会までにはしっかりと勉強しなおすことを約束して承認されました。

第2号議案は、同じく平成20年度事業計画案および予算案検討の件についてですが、第1号議案同様再度の検討を約束して承認されました。

第3議案は、平成19年度表彰組合選定の件についてですが、購買部・福祉部・広報部各部会から選出された組合および個人につき説明があり、第36回通常総会にて表彰することが承認されました。

第4号議案は、第36回通常総会式次第・上程議案・議案説明担当検討の件についてですが、式次第の担当説明に続いて第1号議案から第5号議案の説明があり、懇親会式次第の説明を含めて承認されました。

第5号議案は、役員功労金の承認を求める件についてですが、永井龍行先生に対する役員功労金贈呈について説明があり、永井先生の27年間にわたる多大なる功績を審議した結果３００万円を贈呈することが承認されました。また、この件は役員退職金規程により理事会承認をもって決定する事項であり、今後も特別具体的な規程を設けないことも併せて承認されました。

第6号議案は、休診共済会との事務委託に関する覚書締結の件についてですが、休診共済会の共済事業に代わる新事業に対する全医協連の事務委託などについてはすでに承認済みでありますが、覚書が未締結であったとの説明があり審議の結果承認されました。

第7号議案は、税務顧問の委嘱契約更新の件についてですが、現在の税務顧問である工藤昭夫税理士と引き続き2年契約をしたい旨説明があり、審議の結果承認されました。

第8号議案は、平成20年度理事会等日程の件についてですが、年間の主要行事スケジュールについて説明があり、早めにカレンダーおよび手帳などへの転載をお願いして承認されました。

今回はあまり書くことがなく面白みに欠けていると思いますが、第36回定時総会へ向けて理事者一同がんばっているという雰囲気を書いてみました。

今後も、マンネリにならないように気をつけて理事会だよりを書くつもりですので、ご助言賜りますれば幸甚に存じますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

諏訪求仁雄
（岐阜医協 顧問）

写真1

写真2

「ノルウェーとアイスランド」

08・8・5～19の15日間、クルーズでノルウェーとアイスランドを訪れた。写真1はノルウェーのフィヨルドのなかでは距離は短いが、ヘルシルトとガイランゲル間の狭くて、深くて、曲がりくねったフィヨルドである。様々な滝の景観等は世界のフィヨルドのなかでも有名。朝、ヘルシルトでバスに乗り換えて氷河地帯・湖・山頂からの見事な景色に歓声をあげて戻ってきた我々を、フィヨルドの終点カイランゲル迄迎えに来ている、グランド・プリンセス（11万トン）。写真2は、「火と氷」の國アイスランドの首都レイキャビックから北東50キロにある世界遺産、シンクベトリル国立公園の一画に、通常は海底にあるはずの、プレートを生み出す火山山脈の頂上部が地上で見られる珍しい場所。手前がユーラシア・プレートで、向こう側が北米・プレートとのこと。この地球の割れ目は今も東西に分かれて大陸を乗せて動いており、国土は毎年2センチほど広がり続けているという。なんとアイスランドで分かれたこの二つのプレートは日本の地底で再会しているとは。両国とも火山の島国で、温泉の多いのも不思議な因縁。

写真3

写真4

「上高地の秋」
写真3は08年10月16日午前9時、霜柱の田代池。
写真4は21日午前10時頃の大正池に映える穂高連峰。

JMC ギャラリー《作品をお寄せください。写真、絵画・スケッチ、イラスト、書などジャンルを問わず歓迎します。（事務局）》

歌壇

●東京　吉住五郎

母と行きし伊賀は上野の片田舎
　終生とれぬ訛なつかし

父母は生きてるだけで有難し
　百寿の旅に姑を送りて

明治十年生れの母に「母の日」無し
　されど横座に嬶座ありけり

父母の今世に在らば嘆くらん
　鼓腹の子等の末は如何にと

日に一首己に課して卒寿より
　いよよ華ぐ命なりけり

刀圭を離れてよりの身は軽し
　天上天下唯我独尊

（平成二十年十月十七日）

俳壇

●名古屋　宗　瑞志

早紅葉の中に白亜の老ホテル

箱根路の秋冷旅の身をつつみ

しぐれ雲富士天辺をひた隠す

運ばるる料理も秋の湖畔亭

●滋賀県　中川湖堂

封切って利く蔵元の新酒かな

蔵元の茶碗にて利く今年酒

寝返りにさめて夜長のはじまりぬ

湖を眺めて居りぬ肌寒し

大八州（おおやしま）茜に染めて初日の出

●東京　吉住五郎

鯖雲に日暮ははやし通ひ天

子ばなれの遅き宿世の赤トンボ

刀圭をはなれて仰ぐ夕月夜

秋刀魚さんま腸に根を残しけり

父母の思ひは深し茄子の花

栗剝いて草田男偲ぶ夕べ哉

心音を聴きし昔や蝉時雨

蛭ついに父の背より墜ちにけり

梧桐に栖む姑百寿越えいたり